

Fukushima with a SMILE!

つながる東北



ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま
久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて
福島県の魅力を発信していきます。

Jan.2026 Vol.85

特集 福島県 相双地域

福島県相双地域は、県の東部、太平洋の沿岸部「浜通り」地方に位置しており、北部の「相馬地域」と南部の「双葉地域」に分けられます。温暖な気候で降雪も少なく、海・山・川の豊かな自然に恵まれた地域です。今回は、相双地域に来て挑戦を続ける企業・工房を紹介します。



浅野燃系株式会社

本社 岐阜県安八郡安八町中 875-1
双葉事務所 福島県双葉郡双葉町中野館ノ内 1-1
HP <https://asanen.co.jp/>

◆ 事業内容

日本の燃系業の起死回生のため、5年の歳月をかけて完成させた世界初の特許技術燃系「SUPER ZERO」を用いたタオル製品などを製造しています。

◆ 新たな挑戦

双葉町に事業進出し、大規模燃系工場「フタバスーパーゼロミル」を建設しました。工場内には直売店「エアーかおる双葉丸」や「キーズカフェ福島双葉」を併設し、双葉町の憩いと集いの場となっています。国内のみならず世界へと「メイドイン双葉」を発信しています。



▼フタバスーパーゼロミル



▼双葉町との共同開発商品ダキシメフタバ



工房マートル

住所 福島県相馬郡飯館村草野字大師堂 127
HP <https://www.instagram.com/atelier.myrtille/>

◆ 事業内容

飯館村をはじめとした福島県内の農家から仕入れた新鮮な花材と厳選した国内メーカーの蝋を用いて、蝋燭を制作しており、飯館村の魅力を感じられる蝋燭制作体験のワークショップやイベント等への出店・展示もしています。

◆ 新たな挑戦

蝋燭作家の大槻氏は、地域おこし協力隊として飯館村に移住し、制作の拠点となる工房をオープンしました。協力隊の任期満了後も、作品が人々の暮らしの中で「こころを満たす道具」となれるよう、制作を続けています。



▼工房マートル



▼ボタニカルキャンドル



相双地域の 観光スポット・名産品

鳥崎海岸

からすぎ



南相馬市

美しい景色が見られるサーフスポットとして人気が高い海岸です。特に、相馬野馬追や野馬追振興競馬大会の1～2ヶ月ほど前になると、朝焼けの中、砂浜を馬が駆けていく「鍊馬」の神秘的な風景を見ることができます。

豚まん

新地産ニラを用いた



新地町

新地産のニラは、肉厚で、香りにも味にも甘みを感じられます。「農産物直売所 味菜ひろばよりみち」限定商品の「豚まん」は餡の中にニラがたっぷり入っており、皮にもニラ粉末が混ぜ込まれて、緑色をしているのが特徴です。

かわうちの湯



川内村

温泉の効能は単純アルカリ泉で肌がツルツルになる「美人の湯」として地元で愛されている温泉施設です。館内には川内村の木がふんだんに使用され、木のぬくもりと香りにも癒やされます。レストランではイワナ料理も味わえます。

広野のみかん



広野町

広野町は「みかんが実る北限の地」として知られています。広野町役場西側、海の見える高台にある「みかんの丘」では、冬が近づくと鮮やかなオレンジ色のみかんが実り、青空との見事なコントラストを作り出しています。

ふたば、ふたたび☆ みらいへの ヒカリプロジェクト



双葉町

もう一度、まちの風景を取り戻そうと、2021年に復活した双葉駅前で行われるイルミネーションです。令和7年度は12/4(木)～1/31(土)の17:00～22:00の間にイルミネーションが行われています。

葛尾の凍みもち



葛尾村

凍みもちは冬は氷点下になる中山間地域ならではの伝統保存食です。もち米、うるち粉、ごんぼっ葉（山野草）、ヨモギを混ぜてつき上げた餅を干して凍らせ保存食に仕上げた素朴な味わいの逸品です。